



「予土線の旅」 武吉孝夫  
(高知県)

稲穂の色付く町から  
栗と椎茸の村を西に向かう  
県境を越えると  
温暖なみかんの里に出た  
河内晩柑と温州蜜柑を  
重いほど買いこんで  
じやこ天と鯛飯を食べた  
いつもは車の日帰り旅だが  
のんびり鉄道の列車旅  
見えないものが見えてきて  
聞こえないものが聞こえてくる  
ゆるやかに流れるソウルの一日だった  
予土線のたかだか八十キロメートルに  
ご当地の味を探す面白さ  
旅先の食には心もおどる  
特別な記念日でなくても  
日々の暮らしに乙張りつけて  
風の流れを変えてみる

IR予土線・土佐天正・土佐昭和開

2025 年 9 月						
日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11